

ITFとITFの青年労働者プログラムとは？

国際運輸労連 (ITF) は、世界150カ国、500万人の交通運輸労働者を代表する約700の労働組合が加盟する交通運輸労働者の国際労働組合連盟です。

青年労働者プログラムは、2006年に南アフリカで開催されたITF世界大会を受けて設置されました。青年のITF活動への参加を強化することで、ITF活動を青年にとって、より意義のあるものにするを目的としています。

2008年にベルギーの首都で開催された青年総会で、以下のブリュッセル宣言が策定されました：

ITFの青年労働者は、ここに以下を宣言します：

- 抑圧、搾取、貧困、環境破壊に抗議し、社会正義を目指して闘うため、国際連帯に基づいて行動します。
- 国際主義を促進しつつ、労働者を分断している差別やコミュニケーション上の障壁を撲滅するために闘います。
- 国際的な労働基準の向上と人権保護のために闘う全ての労働者とともに立ち上がり、積極的に運動に参加します。
- この宣言文に署名することで、世界中の青年や労働者と連帯し、この闘争に全力を尽くすことを、ここに誓います。

ITF青年交通運輸労働者委員会

2010年のITFメキシコ大会での手続きを経て、ITF規約が改正され、ITF青年交通運輸労働者委員会が発足しました。同委員会は、組合の活動や重要な問題に関するキャンペーンに、青年労働者がより積極的に参加してくれるよう促すための戦略を構築するなど、青年労働者関係の活動を前進させるために設置されました。青年委員会の代表者は、ITF執行委員会にも参加でき、産別部会の議長や女性委員会の議長と同等の地位をもちます。

「...さて、ITF第43回大会までの期間に、現在の活動計画を継続的に拡大し、要は加盟組合に出かけていき、ITFの青年活動が全ての加盟組合にとって意義あるものになるようにする必要があります」
カナダ自動車労組、トラヴィス・ハリソン

青年プログラムの活動とは？

ITFは加盟組合と協力し、現時点で、また将来的に、より力強い組合を構築できるよう、より多くの青年労働者を加盟組合が組織できるよう支援しています。具体的には下記のような取り組みを行っています：

青年交運労働者ネットワークの構築

ITFは、既に青年労働者ネットワークに参加している数百名の活動家をベースに活動を前進させることに意欲的です。ITFは、あらゆる会議で、このネットワークを宣伝しています。ジェンダーバランスが保たれると同時に、ネットワークの地域的、産業的なバランスも確実に保てるよう努力しています。

青年総会の設置

ITF青年委員会は、第一回青年総会を2010年のITFメキシコ大会の際に開催しました。今後、青年総会はITF大会の際に必ず行われることになりました。つまり、青年の懸案事項をITFの意思決定機関に提起することが可能になったということです。

ITFの青年活動を統合する

現在、ITFは青年プログラムをITFの主要活動に統合させつつあります。例えば、地域総会やサマースクールでは、青年活動に大きく焦点があてられるようになりましたし、青年プログラムをITFの産別部会の活動に統合させようという努力もなされています。

ウェブサイトとブログの開設

ITFは、青年労働者を対象とし、青年労働者に関する情報を掲載したウェブサイト (www.itfglobal.org/youngworkers) を開設しました。同サイトでは、青年労働者が関心を寄せる問題に関する投稿を掲載したブログも閲覧できます。

重要な問題に関するキャンペーン:

気候変動

青年労働者は、気候変動の影響を食い止める行動を要請する決議を2010年のメキシコ大会に提出しました。決議を支持する声明で、青年労働者は訴えました。「全ての加盟組合が、あらゆる機会を活用し、生活環境や労働環境が環境に優しいものになるよう改善し、気候変動の問題に関する教育を促進し、意識向上を図ることを要請します。グリーン産業を通じて雇用機会が創出されます。よりグリーンな労働者を通じ、持続可能な未来が広がる可能性が大きいのです」

不安定雇用への対応

青年プログラムでは、「雇用保障の欠如」の問題に引き続き焦点をあてていきます。青年は有期雇用や臨時雇用である可能性が高いため、不安定雇用の問題は、若年層に偏った影響を及ぼしています。

もっと情報が欲しい方は

下記のウェブサイトをご覧ください：

www.itfglobal.org/youngworkers

または、下記のITF青年労働者部門宛てにご連絡ください：
young@itf.org.uk

ITFの青年労働者を対象とした以下のウェブサイトから最新のニュースなどもご覧いただけます：

www.itfyouth.org

100%
POWER



ITFの 青年労働者プログラム



国際運輸労連 (ITF)

49-60 Borough Road, London SE1 1DR, UK

Tel: +44 (0)20 7403 2733

Fax: +44 (0)20 7357 7871

www.itfglobal.org



組織化に向けた10のヒント

1. 既存の組合員について把握しましょう

既に組合に加入している青年の「監査」を行ってください。この「監査」は、青年労働者の組合参加レベルと組織率、年長者と青年の間で資源がどのように割り振られているかを評価することを目的とします。監査を通じ、将来、変化を起こす際に、その機会がどこにあるのかを把握することができるようになるでしょう。

2. 一人で行動しないでください

青年労働者の組織化を手伝ってくれる、あるいは青年代表になることに関心のある若い組合員がいなか探しましょう。青年が抱える問題を報告してくれたり、仲間に組合加入を勧めたりするなどの方法で、あなたを手伝うことができそうな青年組合員を探す努力をしてください。

3. 青年代表の会議を定期的に開催しましょう

組合の青年代表のための会合を開くことで、青年労働者が抱える問題について話し合い、青年をどうリクルートするか、また会社側に提起すべき問題を話し合う時間と場所が生まれます。

4. 青年労働者に話しかけましょう

青年労働者と仕事について話しましょう。会話を通じ、早急に解決すべき問題は何か、あなたに何かできることはあるかを考えましょう。仕事で問題が発生した時、あなたに話をするできると青年労働者が思えるような存在になるように努力しましょう。

5. 青年が初めて職場に来た時、また研修時に声をかけましょう

新人研修や訓練コースに組合の活動家が参加し、新入社員に組合の活動について情報を提供することを協約で決めている組合も、一部にはあります。

6. 青年労働者を含む未組織労働者を探してリクルートしましょう

組合が会社を説得して組合の考えを通すことができるかどうかは、全労働者が組織されているかどうかにかかっています。未組織労働者を探し出し、どうすれば彼らをリクルートできるか、最善の策を組合とともに考えましょう。青年が多く働いているが、従来、労働組合が組織してこなかった職種にも目を向けましょう。

7. 他の組合と協力関係を構築しましょう

未組織の職場で組織化キャンペーンを立ち上げる前に、他の組合に連絡し、支援を得るようにしましょう。そうすることで、他労組との競争は絶対に避けましょう。

8. 成果を公表しましょう

ある一人の青年労働者を対象に恩恵を勝ち取った場合、そのことを他の青年にも広めましょう。やり方はたくさんあります。例えば、広報活動を行ったり、組合のウェブサイト、新聞、電子ブルテンなどで紹介したりすることもできます。フェイスブックやツイッターなどのSMSにメッセージを書き込んだり、ブログに成功談を載せたりすることもできます。

9. 青年労働者を訓練してオルグに育てましょう

若いオルガナイザーを活用し、他の青年のリクルートを支援してもらいましょう。青年オルグに、どのような訓練が必要かを調べ、そのために必要な資源の提供を組合に約束させましょう。

10. 適切なコミュニケーションを取りましょう

青年組合員が組合について全て分かるようにしましょう。青年は、組合が提供するサービスや、組合が青年労働者のために何をしているかを知る必要があります。簡潔かつシンプルなニュースを配信することもできるでしょう。また、組合のウェブサイトや機関誌があるなら、青年が興味を持ちそうな問題の特集を組んでもよいでしょう。また、組合は、組合の最近の動向について、掲示板に掲示するか、電子ブルテンとして送付するなどして、全てを青年労働者に提供すべきです。フェイスブック、ツイッター、ブログなどのソーシャルメディアの活用も、メッセージを確実に伝える優れた方法です。



青年労働者の組織化

交通運輸産業が成長しているということは、この産業に従事する青年労働者が増えているということですが、業界でも労働組合でも依然として年長者が支配的になっています。そのため、青年労働者が労働組合に入りにくいと感じることが、しばしばあります。労働組合が青年を参画させ、今後、将来的には青年労働者が労働運動を前進させていくことができるようにすることが重要です。

青年労働者の組合参加を阻むものは？

労働組合がどのような支援をしてくれるかを理解していない青年労働者は、たくさんいます。年長者が支配的で、青年労働者や、その他のグループが疎外感を感じるなど、労働組合は時として非常に保守的な組織になり得ます。

青年労働者を主流化する

労働運動において、青年労働者を「主流化する」ことは、全組織的に意思決定のプロセスを変化させ、青年労働者のニーズが満たされるようにすることを意味します。この主流化によって、交通運輸労組の指導者は、青年労働者だけでなく、移民労働者や女性など、しばしば労働組合から疎外されてきたグループを組合に引き入れることを検討できるようになります。

主流化とは以下のようなことを意味します：

- 労働組合の政策や意思決定のプロセスが、いかに青年労働者を疎外し得るかを把握すること。
- 労働組合が政策を策定したり、活動を行ったりする際に、青年労働者を念頭に置き、青年労働者の組合への参画を促進すること。
- 青年労働者の参加を促進するための活動支援資源を提供すること。



新たな種類の労働者の組織化

グローバル化、規制緩和、コスト削減は、交通運輸業界の労働条件低下を招きました。このことが、青年労働者を含む、一定のグループの労働者に、過度に大きな影響を及ぼした可能性が高いのです。

世界中で何百万という青年が有期や臨時の仕事に従事しており、給付金なども受け取れず、将来の展望も描けずにいます。人員削減が行われる際、真っ先に仕事を失うのも青年労働者である可能性が高いのです。そのような不安定労働に従事する青年は多く、コールセンター、コンピュータへの入力作業、倉庫業務や配送業務などがその一例です。労働組合は、これらの労働者にも支援の手を広げ、労働条件を改善できるように支援するべきです。

青年労働者に影響を及ぼす主な問題

例えば、次のような問題があるでしょう：

- 賃金と労働条件の二層化 - 青年労働者の賃金は年配の労働者より低い場合が多く、最低賃金しか受け取っていない可能性も高い。
- 不安定労働 - 青年労働者が従事している仕事には雇用の保障がなく、臨時雇用されている可能性も高い。
- 労働権の欠如 - 臨時雇いや有期雇用の青年労働者の場合は、組合に加入していない可能性が特に高い。